

みんなで作る
みどりのまちなみ

まちなみ緑化をはじめよう

県民まちなみ緑化事業の活用をご検討のみなさまへ

「県民まちなみ緑化事業」では、苗木や肥料等の購入費等の補助を行います。維持管理はみなさんに行っていただきます。

管理を上手に、効率よく続けるためには、植物のことをよく知るとともに、管理の体制づくりや費用のことも考えましょう。



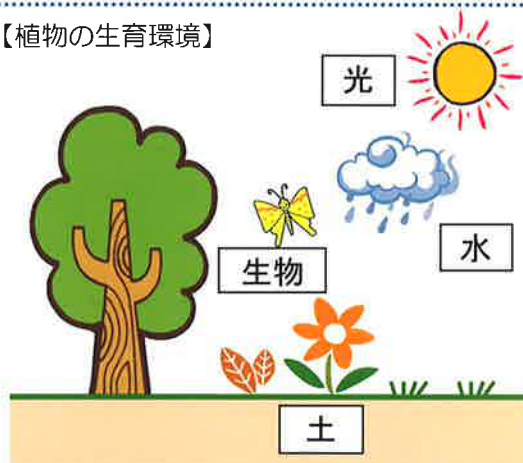
植物を育てるとのこと

植物は生き物です。植えて終わりではなく、その後も生育して行きます。そのため、**植栽後の育成が緑の質を左右する**のです。

また、植物は自分では動けません。まずは、植物にとって**良い生育環境**をつくるのが大切です。

- ⇒ 適切に育てることできちんと成果が表れます。
- ⇒ 管理作業がなくなることはありませんが、**無理のない維持管理の計画**を立てたり、**比較的手間のかからない樹種**を選ぶことで手間を軽減できます。

【植物の生育環境】



植栽場所の環境を理解し、適切に管理することで良好な緑となります。どのような緑化を行うべきか目標設定を行い、また、無理なく続けられることもふまえて、計画しましょう。

必要な設備や道具をそろえましょう

○ホース、シャワーヘッドなどの給水の道具は揃っていますか？

また、散水栓などの給水設備はありますか？

- ⇒ 大面積の植栽帯では散水栓の設置で手間が軽減されます。

○土、肥料、ふるいなど土づくりの資材はありますか？

○剪定ばさみ、ノコギリなど樹木管理に必要な道具はありますか？

○芝刈り機、ローンスパイクなど芝生を健全に育成できる機材はありますか？

○その他の道具もチェックしましょう

- ⇒ 清掃道具はありますか？

- ⇒ 一輪車、台車など、道具の移動に必要なものや道具を収納する場所がありますか？

○このような設備も検討しましょう

- ⇒ 堆肥枠があれば落ち葉をたい肥にすることができます。

- ⇒ 剪定枝をチップにする粉碎処理機もあります。



ホースと
シャワーヘッド



堆肥枠

こんな作業があります

■ 樹木の管理

一般的な樹木の管理として、水やり、除草、剪定などの作業があります。日常的な作業として大切なのは水やりと草引きです。

- ➡ **水やりは植物の状態をよく見て行います。**特に、植栽後は根が活着するまで水切れしないように気をつけます。
- ➡ 苗木や低木、宿根草は雑草に負けることがあるので、注意しましょう。また、雑草は土壤の栄養を奪うなどの害もあります。



■ 芝生の管理

芝生の管理には、水やり、刈込み、除草、エアレーションなどの作業があります。中でも、水やりと刈込みは手間がかかりますが、健全な芝生を育てるポイントとなります。

- ➡ **刈込みの回数を増やすと、密度の高い美しい芝生ができ、雑草も目立ちません。**
- ➡ 大面積になるとそれだけ手間も増大するので機械化などの工夫が必要です。



育成を続けるために

■ 無理のない体制づくりを心掛ける

- ➡ 特定の人に負担がかからないようにしましょう。全部の作業を誰か1人がするのはではなく、**作業を分担する**ようにしましょう。
- ➡ **作業量をふまえた緑化計画や樹種選定**をしましょう。
- ➡ **仲間づくりややりがいづくり**も大切です。

■ 変えていくこと、変わらないことを意識する

- ➡ 「どんな緑地にしたいか」といった**目標をつくり**、それに沿った管理を行きましょう。

目標例) 目標樹形を設定する

生物多様性を守るような樹種を植える など

- ➡ 緑は何十年、何百年もの間、そこに生き続けます。**まちの将来**のことも考えて計画しましょう。

■ 資材の購入等の費用を確保する

- ➡ 市や町の助成制度の有無など、**他に助成制度がないか**調べてみましょう。
- ➡ 個人の財産に頼るのではなく、自治会やグループなどでの予算化を検討しましょう。

■ 講習会や交流会などに参加する、専門家に相談する

- ➡ 良質な管理を行うには正しい知識と適切な技術が必要です。常にアンテナをはって**適切な情報を手に入れる**ようにしましょう。
- ➡ 花と緑のまちづくりセンターが実施する「**花と緑の専門家バンク事業**」を活用しましょう。



協力しながら無理のない作業を行う事が大切です

詳しくは下記までお問い合わせください

- (財)兵庫県園芸・公園協会 花と緑のまちづくりセンター
TEL : 078-918-2405 FAX : 078-919-5186
<http://www.hyogo-park.or.jp/midori/>
〒673-0847 明石市明石公園1番27号